



# Cisco IP 電話のハードウェア

- [電話機の概要 \(1 ページ\)](#)
- [Cisco IP Phone 8811 \(3 ページ\)](#)
- [Cisco IP 電話 8841 および 8845 \(4 ページ\)](#)
- [Cisco IP 電話 8851 および 8851NR \(5 ページ\)](#)
- [Cisco IP 電話 8861、8865、および 8865NR \(7 ページ\)](#)
- [ボタンとハードウェア \(8 ページ\)](#)
- [ビデオフォンのカメラの保護 \(11 ページ\)](#)

## 電話機の概要

Cisco IP 電話 8800 シリーズは、Internet Protocol (IP) ネットワーク経由の音声通信を提供します。Cisco IP 電話は、デジタル ビジネス フォンとほぼ同様に機能し、電話の発信に加えて、ミュート、保留、転送などの機能を使用できます。また、データ ネットワークに接続するため、IP テレフォニー機能が拡張され、ネットワーク情報やサービス、およびカスタマイズ可能な機能やサービスにアクセスできるようになります。

Cisco IP 電話 8811 は、グレースケール LCD 画面を備えています。Cisco IP 電話 8841、8845、8851、8851NR、8861、8865、および 8865NR は、24 ビットカラー LCD 画面を備えています。

電話回線キーに機能を追加する場合、使用できる回線キーの数には制限があります。使用している電話機の回線キーの数を超えて機能を追加することはできません。

Cisco IP 電話の機能は次のとおりです。

- [セッション回線モード (Session Line Mode)] で最大 5 回線、[拡張回線モード (Enhanced Line Mode)] で最大 10 回線をサポートするプログラム可能な機能ボタン。
- フル ビデオ機能 (Cisco IP 電話 8845、8865、および 8865NR のみ)
- ギガビット イーサネット 接続機能
- ワイヤレス ヘッドセット用 Bluetooth のサポート (Cisco IP 電話 8845、8851、8861、および 8865 のみ。この機能は、Cisco IP 電話 8811、8841、8851NR、および 8865NR ではサポートされていません)

- 外部マイクロフォンとスピーカーのサポート (Cisco IP 電話 8861、8865、および 8865NR のみ)
- Wi-Fi によるネットワーク接続機能 (Cisco IP 電話 8861 および 8865 のみ。Wi-Fi は、Cisco IP 電話 8865NR ではサポートされません)
- USB ポート :
  - Cisco IP 電話 8851 および 8851NR には USB ポート X 1
  - Cisco IP 電話 8861、8865、8865NR には USB ポート X 2

Cisco IP 電話 8845、8865、および 8865NR は、内蔵ビデオカメラによるビデオコールをサポートしています。この機能を使用すれば、友人や同僚とコラボレーションしたり、電話機を使ってフェイスツーフェイス会議を開催することができます。



- (注) Cisco IP 電話 8845、8865、および 8865NR では、ボックスと梱包を保存する必要があります。これらの電話機のカメラは脆弱です。電話機を移動する場合は、電話機を元のボックスにパックしてカメラを保護することを推奨します。詳細については、[ビデオフォンのカメラの保護 \(11 ページ\)](#) を参照してください。

ビデオ コールには次の機能があります。

- [PIP] : 右下、右上、左上、左下の 4 つのポジションから選択します。PIP 表示をオフにすることもできます。
- [スワップ (Swap) ] : PIP ビュー内で表示を切り替えます。[スワップ (Swap) ] ソフトキーは PIP がオフになっているときは無効です。
- [ビデオのセルフビュー (Self-view Video) ] : [ビデオのセルフビュー (Self-view Video) ] を選択すると、ビデオに表示される場合と同様に画像が表示されます。
- [ビデオ UI および会議/転送開始 (Video UI and Conference/Transfer Initiation) ] : 会議を開始する場合に選択します。

ビデオ コールの詳細については、『*Cisco IP 電話 8800 Series User Guide for Cisco Unified Communications Manager*』および該当する Cisco Unified Communications Manager リリースのマニュアルを参照してください。

他のデバイスと同様に、Cisco IP 電話 は設定し、管理する必要があります。これらの電話機は、次のコーデックのエンコードとデコードを行います。

- G.711 a-law
- G.711 mu-law
- G.722
- G722.2 AMR-WB
- G.729a/G.729ab

- G.726
- iLBC
- Opus
- iSAC



**注意** セル方式の電話、携帯電話、GSM 電話、または双方向ラジオを Cisco IP 電話のすぐ近くで使用すると、相互干渉が発生することがあります。詳細については、干渉が発生するデバイスの製造元のマニュアルを参照してください。

Cisco IP 電話は、通話転送や転送、リダイヤル、短縮ダイヤル、会議コール、ボイスメッセージングシステムへのアクセスなど、従来のテレフォニー機能を提供します。Cisco IP 電話では、さらにその他の各種の機能も提供します。

Cisco IP 電話は、他のネットワーク デバイスと同様に、Cisco Unified Communications Manager および IP ネットワークの他の部分にアクセスできるように設定する必要があります。DHCP を使用すると、電話機上で設定する内容が少なくなります。ただし、お使いのネットワークで必要な場合は、IP アドレス、TFTP サーバ、サブネット情報などの情報を手動で設定できます。

Cisco IP 電話は、IP ネットワーク上の他のサービスやデバイスと連携することで、高度な機能を提供できます。たとえば、Cisco Unified Communications Manager を社内の Lightweight Directory Access Protocol 3 (LDAP3) 標準ディレクトリと統合すると、ユーザが同僚の連絡先情報を IP 電話で直接検索できるようになります。XML を使用すると、天気予報、株価情報、商品相場などの Web ベースの情報にユーザがアクセスできるようになります。

さらに、Cisco IP 電話はネットワーク デバイスであるため、詳細なステータス情報を電話機から直接取得することができます。この情報は、ユーザが IP 電話を使用しているときに生じた問題をトラブルシューティングするのに役立ちます。また、アクティブ コールに関する統計情報や、ファームウェアのバージョンも電話機で取得できます。

Cisco IP 電話を IP テレフォニー ネットワークで機能させるには、IP 電話を Cisco Catalyst スイッチなどのネットワーク デバイスに接続する必要があります。また、コールを送受信する前に、Cisco IP 電話を Cisco Unified Communications Manager システムに登録する必要があります。

#### 関連トピック

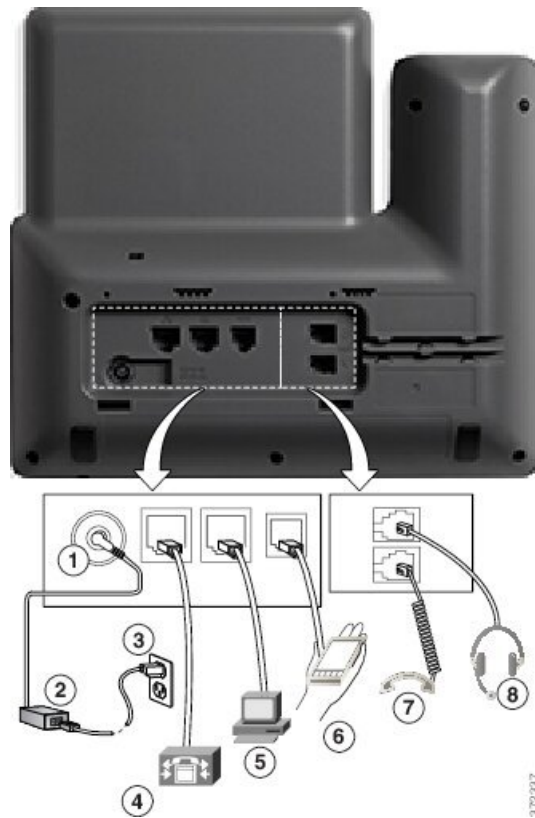
[Cisco Unified Communications Manager のマニュアル](#)

## Cisco IP Phone 8811

以下の項では、Cisco IP Phone 8811 の属性について説明します。

### フォンの接続

次の図に示されているように、組織の IP テレフォニー ネットワークに電話機を接続します。



1	DC アダプタ ポート (DC48V)。	5	アクセスポート (10/100/1000PC) 接続
2	AC-DC 電源装置 (オプション)。	6	補助ポート
3	AC 電源コンセント (オプション)。	7	ハンドセットの接続。
4	ネットワークポート (10/100/1000 SW) 接続。IEEE 802.3at 電源対応	8	アナログヘッドセットの接続 (オプション)。



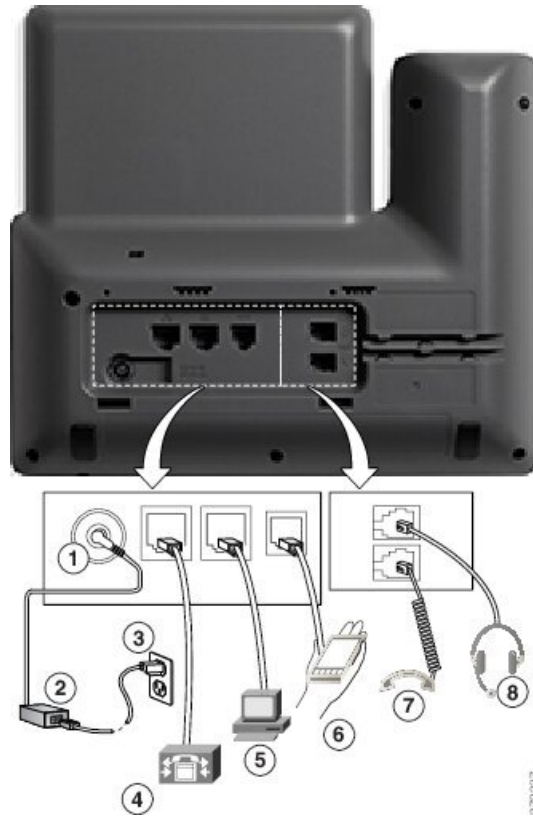
(注) Cisco IP Phone 8811 はキー拡張モジュールをサポートしていません。

## Cisco IP 電話 8841 および 8845

次のセクションでは、Cisco IP 電話 8841 および 8845 の属性について説明します。

## 電話機の接続部

次のダイアグラムを使用して、電話機を会社の IP テレフォニー ネットワークに接続します。



1	DC アダプタ ポート (DC48V)	5	アクセスポート (10/100/1000 PC) 接続
2	AC-DC 電源装置 (オプション)。	6	補助ポート
3	AC 電源コンセント (オプション)。	7	ハンドセットの接続。
4	ネットワーク ポート (10/100/1000 SW) 接続。IEEE 802.3at 電源対応	8	アナログヘッドセットの接続 (オプション)。



(注) Cisco IP 電話 8841 および 8845 はキー拡張モジュールをサポートしていません。

## Cisco IP 電話 8851 および 8851NR

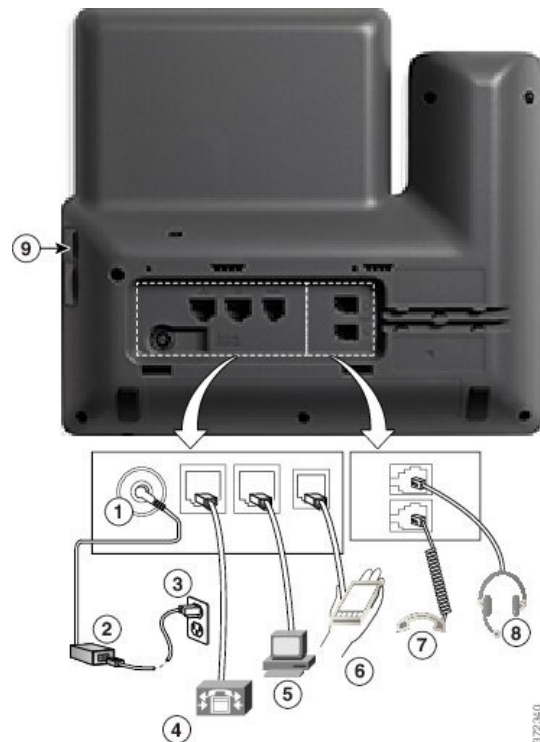
以降の項では、Cisco IP 電話 8851 および 8851NR の属性について説明します。



(注) Cisco IP 電話 8851NR は Bluetooth をサポートしていません。その点を除き、Cisco IP 電話 8851 と Cisco IP 電話 8851NR は同じ機能をサポートしています。

## 電話接続

次の図に示されているように、企業 IP テレフォニー ネットワークに電話機を接続します。



1	DC アダプタ ポート (DC48V)	6	補助ポート
2	AC-DC 電源装置 (オプション)。	7	ハンドセットの接続。
3	AC 電源コンセント (オプション)。	8	アナログ ヘッドセットの接続 (オプション)。
4	ネットワーク ポート (10/100/1000 SW) 接続。IEEE 802.3at 電源対応	9	USB ポート
5	アクセス ポート (10/100/1000 PC) 接続		



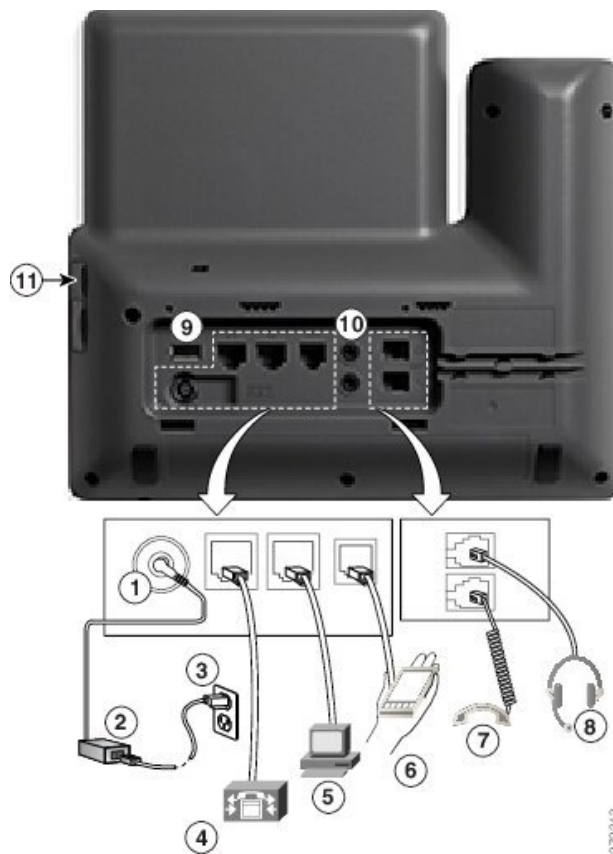
- (注) 各USBポートは、最大5台のサポート対象デバイスおよび非サポートデバイスの接続をサポートしています。電話機に接続された各デバイスは、最大デバイス数に含まれます。たとえば、電話機は5台のUSBデバイス（2台のキー拡張モジュール、1台のヘッドセット、1台のハブ、および1台の別の標準USBデバイスなど）を側面ポートでサポートします。第三者製のUSB製品の多くは複数のUSBデバイスとしてカウントされる場合があります。たとえば、あるデバイスにUSBハブとヘッドセットが含まれる場合は2台のUSBデバイスとして扱われることがあります。詳細については、USBデバイスのマニュアルを参照してください。

## Cisco IP 電話 8861、8865、および 8865NR

以降の項では、Cisco IP 電話 8861、8865 および 8865NR の属性について説明します。

### 電話機の接続部

次の図に示されているように、企業 IP テレフォニー ネットワークに電話機を接続します。



1	DC アダプタ ポート (DC48V)	7	ヘッドセットの接続。
---	---------------------	---	------------

2	AC-DC 電源装置 (オプション)。	8	アナログ ヘッドセットの接続 (オプション)。
3	AC 電源コンセント (オプション)。	9	USB ポート
4	ネットワーク ポート (10/100/1000 SW) 接続。IEEE 802.3at 電源対応	10	オーディオ イン/アウト ポート
5	アクセス ポート (10/100/1000 PC) 接続	11	USB ポート
6	補助ポート		



- (注) 各 USB ポートは、最大 5 台のサポート対象デバイスおよび非サポートデバイスの接続をサポートしています。電話機に接続された各デバイスは、最大デバイス数に含まれます。たとえば、電話機では 5 台の USB デバイス (たとえば 3 台のキー拡張モジュール、1 台のハブ、もう 1 台の標準 USB デバイス) を側面ポートでサポートし、さらに 5 台の標準 USB デバイスを背面ポートでサポートできます 第三者製の USB 製品の多くは複数の USB デバイスとしてカウントされる場合があります。たとえば、あるデバイスに USB ハブとヘッドセットが含まれる場合は 2 台の USB デバイスとして扱われることがあります。詳細については、USB デバイスのマニュアルを参照してください。

## ボタンとハードウェア

Cisco IP 電話 8800 シリーズには、次に示す 2 つの異なるハードウェア タイプがあります。

- Cisco IP 電話 8811、8841、8851、8851NR、および 8861 : カメラなし。
- Cisco IP 電話 8845、8865、および 8865NR : 内蔵カメラ付き。

次の図は、Cisco IP 電話 8845 を示しています。



















図 1: Cisco IP 電話 8845 のボタンおよびハードウェア



次の表は、Cisco IP 電話 8800 シリーズのボタンについて説明しています。

表 1: Cisco IP 電話 8800 シリーズのボタン

1	ハンドセットとハンドセット ライトストリップ	着信コール（赤色に点滅）または新しいボイスメッセージ（赤色に点灯）があるかどうかを示します。
2	カメラ  Cisco IP 電話 8845、8865、 および 8865NR のみ	ビデオ コールのためにカメラを使用します。
3	プログラム可能な機能ボタ ンと回線ボタン	<p>: 電話回線、機能、およびコールセッションにアクセスします。</p> <p>電話回線キーに機能を追加する場合、使用できる回線キーの数には制限があります。使用している電話機の回線キーの数を超えて機能を追加することはできません。</p> <p>詳細については、「Cisco IP 電話ハードウェア」の章の「ソフトキー、回線ボタン、機能ボタン」の項を参照してください。</p>
4	ソフトキー ボタン	<p>: 関数とサービスにアクセスします。</p> <p>詳細については、「Cisco IP 電話ハードウェア」の章の「ソフトキー、回線ボタン、機能ボタン」の項を参照してください。</p>

5	戻る、ナビゲーションクラスタ、およびリリース	<p>戻る  : 前の画面またはメニューに戻ります。</p> <p>ナビゲーションクラスタ  ナビゲーションリングと [選択 (Select)] ボタン: メニューをスクロールしたり、項目を強調表示したり、強調表示されている項目を選択したりできます。</p> <p>リリース  : 接続されているコールまたはセッションを終了します。</p>
6	保留/再開、会議、および転送	<p>保留/再開  : アクティブ コールを保留にしたり、保留中のコールを再開したりします。</p> <p>会議  : 電話会議を作成します。</p> <p>転送  : コールを転送します。</p>
7	スピーカフォン、ミュート、およびヘッドセット	<p>[スピーカフォン (Speakerphone) ] : スピーカフォンのオン/オフを切り替えます。スピーカフォンがオンになっているとき、ボタンは点灯しています。</p> <p>[ミュート (Mute) ] : マイクフォンのオン/オフを切り替えます。マイクフォンがミュートになっているとき、ボタンは点灯しています。</p> <p>ヘッドセット  : ヘッドセットをオンに切り替えます。ヘッドセットがオンの場合、ボタンは点灯します。ヘッドセット モードを終了するには、ハンドセットを持ち上げるか、スピーカフォン  を選択します。</p>
8	連絡先、アプリケーション、およびメッセージ	<p>連絡先  : 個人用ディレクトリや社内ディレクトリにアクセスします。</p> <p>[アプリケーション (Applications) ]  : 発信履歴、ユーザ設定、電話機設定、および電話機モデル情報にアクセスします。</p> <p>メッセージ  : ボイス メッセージング システムを自動的にダイヤルします。</p>
9	音量 ボタン	<p> : ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの音量 (オフフック) と呼出音の音量 (オンフック) を調整します。</p>

## ソフトキー、回線ボタン、機能ボタン

電話機で対話式に機能を実行する方法がいくつかあります。

- ソフトキーは画面の下にあり、ソフトキーの上の画面に表示されている機能にアクセスできます。ソフトキーは、その時点で実行されている操作に応じて変化します。[その他... (More...)] ソフトキーは、その他にも使用可能な機能があることを示しています。
- スクリーンの両側にある機能ボタンと回線ボタンを使用すると、電話機能および電話回線にアクセスできます。
  - 機能ボタン：短縮ダイヤルやコールピックアップなどの機能で使用します。また、別の回線での自分のステータスを表示するために使用します。
  - 回線ボタンを使用すると、コールに応答したり、保留中のコールを再開したりできます。アクティブコールに対して使用されないときは、不在着信の表示などの電話機能を開始できます。

機能ボタンと回線ボタンの点灯は、次のようなステータスを示します。

LED のカラーと状態	標準回線モード: 回線ボタン	標準回線モード: 機能ボタン [拡張回線モード (Enhanced Line Mode) ]
 緑色で一定の LED	アクティブコールまたは双方向インターコムコール、保留コール、使用中のプライバシー	アクティブコールまたは双方向インターコムコール、使用中のプライバシー
 緑色、LED 点滅	なし	保留された通話
 オレンジ色、点灯 LED	ハントグループにログインした着信コール、復帰コール、一方向インターコムコール	ハントグループにログインした一方向インターコムコール
 オレンジ色、LED 点滅	なし	着信コール、復帰コール
 赤色、点灯 LED	使用中のリモート回線、保留中のリモート回線、アクティブに応答不可	使用中のリモート回線、アクティブな応答がありません
 赤色、LED 点滅	なし	リモート回線が保留中

管理者は、いくつかの機能をソフトキーまたは機能ボタンとして設定できます。さらに、ソフトキーや関連するハードボタンを使っていくつかの機能にアクセスすることもできます。

## ビデオフォンのカメラの保護

ビデオフォンのカメラが壊れやすく、電話機の配送中に壊れる可能性があります。

### 始める前に

次のいずれかが必要です。

- 元の電話箱と梱包材
- エアクッションや泡の回り込みなどのパッケージング素材

### 手順

---

**ステップ1** 元のボックスを使用している場合は、次のようになります。

- a) レンズがきちんと保護されていることを示すために、カメラにエアクッションを配置します。
- b) 電話機を元のボックスに置きます。

**ステップ2** ボックスを持っていない場合は、電話機をエアクッションまたは泡の回りにして、カメラを保護します。どの方向からでもカメラを何も押しられないようにエアクッションがカメラを保護し囲むようにします。または、カメラが輸送中に破損することがあります。

---

## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。